

# 週報

Rotary  
福岡中央  
ロータリークラブ

- 四つのテスト
1. 真実かどうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるかどうか



世界に希望を生み出そう

「CREATE HOPE in the WORLD」  
2023-2024年度 国際ロータリー会長  
R.Gordon R.McInally

「ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう」

国際ロータリー第2700地区

2023-2024年度 ガバナー 吉田 知弘

「再び動かす我らの歴史」

2023-2024年度 福岡中央ロータリークラブ

会長 怡土 順治 幹事 泥谷 高博

本日の例会 令和6年1月15日(第2056回) VOL.47 No.21

新年夜間例会  
(福新楼)

職業奉仕月間

今後の  
例会予定

- ・ 1月22日(月) 卓話 ネットワーク88 代表 幸田昌則さん
- ・ 1月29日(月) 卓話 日本銀行 福岡支店長 大山慎介さん(福岡RC)
- ・ 2月 5日(月) クラブ協議会「委員会半期報告」※各委員長発表

「わらの大仏」



筑前町の安の里公園に毎年作られる「巨大わらかがし」ですが、2023年は感染症や自然災害などの災いを鎮める「わらの大仏」でした。今回で9作目になるのですが、行って間近で見ると迫力に圧倒されます。江口裕

例会日…毎週月曜日 12:30~13:30 例会場・事務局…西鉄グランドホテル

TEL 714-0305 FAX 714-0311 E-mail fukuoka-chuo-rc@wind.ocn.ne.jp HP <http://www.fukuoka-chuo-rc.jp>

# 前週例会の記録(12月18日)

## 出席報告

前回例会 12月18日	前々回例会 12月11日
会員数 52名	会員数 52名
出席会員 39名	出席会員 33名
ビジター他 0名	修正 5名
合計 39名	免除 2名
出席率 75.00%	修正後出席率 76.00%

## 会長の時間

### 怡土 順治会長

本日は今年最後の例会になります。先週の家族忘年懇親会は本当に楽しかったですね。久しぶりに多くのご家族の方にお会いすることができて本当に嬉しく思いました。本日の会長の時間ですがご批判もあるかとは思いますが、皆様に少しでも正月を楽しんでほしいという思いから箱根駅伝の話をしてしたいと思います。今回で第100回を迎える箱根駅伝。今年は特に駒澤大学が圧倒的に強いと言われていて、昨年も学生3大駅伝(出雲・全日本・箱根)を制覇、今年の箱根も勝つと史上初の2年連続3冠の金字塔を打ち立てることになります。過去を振り返ると3冠を達成した大学は1990年の大東文化大学、2000年の順天堂大学、2010年の早稲田大学、2016年の青山学院大学、2022年の駒澤大学のみです。以前私の卓話で少し話したとは思いますが、強豪大学ともなりますと誰でも陸上部に入部できるわけではありませんし、人数も限られています。入寮基準となるタイムが設定されており原則スポーツ推薦での入部になります。ごくまれに一般から入部するケースもありますが例外と考えておいて間違いないと思います。だいたい駒澤とか中央とかは1学年10人程度で全体では50人弱くらいです。他の大学も60人くらいです。スポーツ推薦枠の少ない早稲田とかは40人弱と少ないですね。この時期は登録メンバー16人が各大学から発表されていますが、この16人に入るのも至難のわざです。特殊区間と言われる5区、6区の選手は恐らくどの大学もある程度決まっています。そのための練習を別メニューで行っているのが通常です。5区の高差は大きく標高差834m(宝満山の標高が829m)を選手は駆けあがります。逆に6区はそれを一気に下るので100mを16秒前半、時には13秒台までスピードアップして走るため、経験者に言わせると「落ちていくような」感覚だそうです。その特殊区間の適性を見るために乳酸値を測定したり心拍のデータを測定したりします。さて、面白く見るためには選手の背景を知るといいと思います。年末になりますと「徹底取材!!箱根駅伝 春夏秋冬」という番組がBS日テレで放送されます。後編が12月24日(日)19時から20時54分放送予定です。各大学の選手の1年間を追った

番組内容になります。12月31日(日)には箱根駅伝0区と言われる早稲田大学競技会(通称 漢祭り)が開催されます。これは箱根駅伝の出走が叶わなかった4年生達が自分たちの陸上競技人生のすべてを賭けて全員自己ベストを狙いに行くという熱い競技会になります。ここで自己ベストをたたき出し、箱根駅伝に出る選手たちにエールを送ります。箱根駅伝に出る選手も一緒に必死になって仲間の応援をします。箱根駅伝は1区から10区まであり、往路5区間107.5km復路109.6kmと総距離も217.1kmと学生長距離界最長の駅伝競走です。それぞれ区間ごとに特色があり簡単な区間は存在しません。1区(大手町→鶴見21.3km)はスタートの大事な区間で1区の選手の役割は先頭が見える位置でエースの2区に繋ぐことが重要です。よく牽制し合っているシーンが見られるのが1区の特徴です。各大学は有力大学の選手をマークして走るため牽制が行われます。たまに単独走がありますが、これはよほど自信がないとなかなかできません。2区(鶴見→戸塚23.1km)は「花の2区」と言われ各大学のエースが激突する見ごたえのある区間です。66分台で走ればかなり凄くて、65分台は過去2人しかいません。この2区は権太坂と言われる上り(13km地点 保土ヶ谷2丁目交差点あたりから約2km高低差約50m)が過酷で有名なのですが実はラスト1kmぐらいから通称「戸塚の壁」という高低差約30mの激坂が更に過酷です。ここを20km以上走ってきてラスト勝負をするという考えられないスパート合戦が繰り広げられます。各大学のエース同士の意地と意地のぶつかり合いに興奮すること間違いなしです。3区(戸塚→平塚21.4km)は最初の10kmぐらいが下り基調なので下りがスムーズに走れる選手が起用される傾向にあります。4区(平塚→小田原20.9km)は近年、準エース区間と言われる翌日の復路に向けて貯金を作りたい大学や前を追いたい大学の重要区間となります。細かな起伏が多く切り替えがうまくできないとペースを崩しやすい区間です。5区(小田原→芦ノ湖20.8km)は特殊区間で今年は4代目「山の神」が誕生するかが注目されます。実はずっと上りではなくラスト4.5kmは下るので下りの上手さも問われる区間です。復路の特徴としては、基本的に単独走になるケースが多く9区(2区の裏区間)や10区(1区の裏区間)は上級生に任されることが多いです。本当は全区間話したいのですが時間もないので、どうしても最後に伝えておきたいことがあります。箱根駅伝は全選手の襷リレーのシーンは必ず放送しますし、全選手の名前が必ずフルネームで呼ばれます。また、全選手の徹底した取材を事前にしており選手一人一人に関心を持ってもらえるような工夫が随所に見られます。カメラアングルやCMを入れるタイミング等も細かに計算されており、見ごたえがある2日間の放送です。ぜひ皆様お時間が許されるのでしたら少しでも青春をかけた学生達の熱い戦いを観ていただくと嬉しいです。私は当日現地入りしています。私が映り込むかチェックしてみてください。これで今年最後の会長の時間を終わります。